

1年道徳通信

第12号

第12回『六十二枚の天気図』



第12回目の道徳では、夏休みの理科の宿題を通して天気に関心を抱いた主人公の日奈が、夏休みに天気の変化について探求し続けていく姿を通して、「真理を探究していくのに大切なことは何か」について考えました。“真理”と聞くとすごく難しく感じますが、疑問やわからないことに妥協せず、物事の真の姿を探り、見極めようと格闘し続けていくことはこれからの人生でとても大切なことだと思います。自分が疑問に思ったことや関心を抱いたことを、分かるまで自分で調べたりしていますか？探究によって物事について“知る”“わかる”ことは、自分自身の人生をさらに豊かにすることにつながっていくのではないのでしょうか。

みんなの意見

日奈に夏休み中、天気予報欄の切り抜きを続けさせた思いとは、何でしょう。

- もっと天気のことを知りたい！天気が気になる。
- 自然と興味が出てきたから、最後までやり続けた。
- 一つ調べて理解できたらまた疑問が出て、それを解決したいから。
- 興味を持ってやめられなくなったから。
- 楽しくてもっと知りたいと思ったから。
- 楽しさや、できた時の達成感。
- いろいろな情報を調べていくうちに楽しくなっていたから。

なぜ？ どうして？ と疑問に思う

気持ちを大切にしていこう！